

実施日：2021年8月6日（金）6:30~9:40

参加者：5名

学生：4名 教職大学院生：1名

担当：杉山、中澤

■実施場所：奈良公園浮雲園地・春日山遊歩道・若草山

■第2回 早朝の春日山原始林・若草山

2021年8月6日（金）6:30~9:40

概要：早朝の奈良公園・春日山原始林を歩きます。朝の森の空気を味わって、若草山山頂から奈良盆地の光景を楽しみます。

6:30 奈良公園・浮雲園地集合

6:35 概要説明・出発

6:40 水谷神社・水谷川に関する解説

6:50 春日山遊歩道北部 散策

（ナギ・モミの樹齢の違い、外来種、仏頭石、月日磐、倒木のギャップ、保護柵等の解説）

7:40 五感の体操（風、光を感じる、音を聞く、寝っ転がる）

8:00~9:00 春日山遊歩道散策～若草山山頂

9:00~9:40 若草山下山 解散

■概要報告

早朝の春日山原始林を体験することを目的に実施した。実施当日は、曇りがちで、雨も降ってくる天気であったが、気温が高かったこと、原始林内が木立に覆われていたこともあり、不快なものではなかった。原始林内へ入ると少し涼しく感じることや、森の中で寝転んで時間を過ごすことなどを入れて、前回の夜の森と同様に自然との交歓を中心として実施した。若草山山頂からは、原始林から奈良公園まで森がつながっていることや、奈良盆地の景観を楽しんだ。

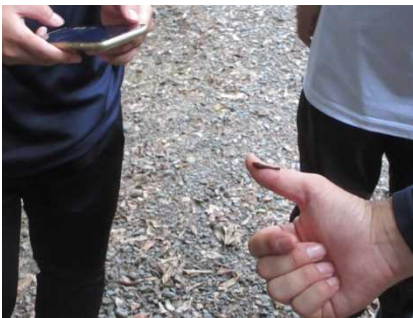
■解説ポイント

- ・水谷神社そばの崩落状況の確認
- ・樹種による成長の違い（ナギ・モミ）
- ・文化的背景に関する気づき（洞の仏頭石、月日磐、水谷川）
- ・葉っぱの手触りによる種の違いなどに関する気づき（ムラサキシキブ、ヤブムラサキ）
- ・奈良のシカの影響に関する気づき（森林ギャップ、保護柵の観察）
- ・キノコ、昆虫（センチコガネ）、ヤマビル等の観察
- ・若草山からの春日山原始林～奈良公園の景観について
- ・若草山のナンキンハゼの状況について

■参加した感想（一部ポートフォリオから）

- ・森で寝転んだ時、雨粒が空から降ってくるのを体験したことが印象に残った。
- ・以前歩いたことはあったが、森に詳しい人と歩くと新たな視点が数多くあって楽しかった。
- ・自然に対する世界が広がった。面白い虫や自然現象が至る所に見られて、身近にこんなたくさん面白いものが潜んでいるなんてと思いきづく面白かった。

■写真

		
春日山の歴史的背景の解説	倒木による土砂崩落（水谷川）	オオセンチコガネ
		
月日磐	葉っぱを触って違いを感じる	森で寝転がる
		
岩に張り付いた不思議な現象 （ヤマナメクジの通過跡）	ヤマビルの観察	若草山二重目から見下ろす東大 寺大仏殿